



愛玩動物看護師制度について

2026年2月13日

愛玩動物看護師の動物愛護・適正飼養分野での活躍推進説明会（自治体向け）

環境省 自然環境局総務課

動物愛護管理室



1. 愛玩動物看護師の制度について
2. 愛玩動物看護師の今後の職域等検討状況について



1. 愛玩動物看護師の制度について
2. 愛玩動物看護師の今後の職域等検討状況について



愛玩動物看護師の概要

- ・獣医療の内容が高度化かつ多様化
- ・健康管理やしつけの重要性
- ・動物を介在した福祉、教育等の諸活動への期待



愛玩動物に関する**獣医療の普及向上**及び
適正飼養に寄与するため、
愛玩動物看護師を国家資格化（令和元年6月）

愛玩動物看護師法の主な内容

独占業務
(獣医師を除く)

- 業務
 - ・獣医師の指示の下に行われる愛玩動物の**診療の補助**
 - ・愛玩動物の**世話その他の看護**
 - ・愛玩動物の**愛護・適正な飼養に係る助言等**
- 対象動物：犬、猫、愛玩鳥（政令で定める種）
- 名称独占：
 - 愛玩動物看護師又はこれに紛らわしい名称の使用禁止
- 免許及び登録：国家試験に合格し、主務大臣の免許を受けなければならない。
- 試験の実施及び受験資格：試験を毎年一回以上実施すること及び受験資格の規定
 - ※主務大臣：農林水産大臣及び環境大臣

第4回愛玩動物看護師国家試験

1. 日程：令和8年2月15日（日）
2. 試験会場：全国7都道府県
3. 出題形式：五肢択一（マークシート方式）
必須問題（50問）、一般問題（100問）、実地問題（50問）
4. 受験資格：
 - ①法施行後の大学等卒業（見込み）者
 - ②法施行前の大学等卒業、在学者（既卒・在学者）
 - ③予備試験合格者（現任者）
5. 合格発表：令和8年3月13日（金）
 - 第1回国家試験合格者数：**18,481人（合格率 88.9%）**
 - 第2回国家試験合格者数：**4,666人（合格率 68.6%）**
 - 第3回国家試験合格者数：**5,048人（合格率 88.0%）**

第4回国家試験予備試験
(令和7年10月5日(日)実施、同10月28日(火)合格発表)

愛玩動物看護師名簿登録者数 26,754人（令和8年2月2日時点）

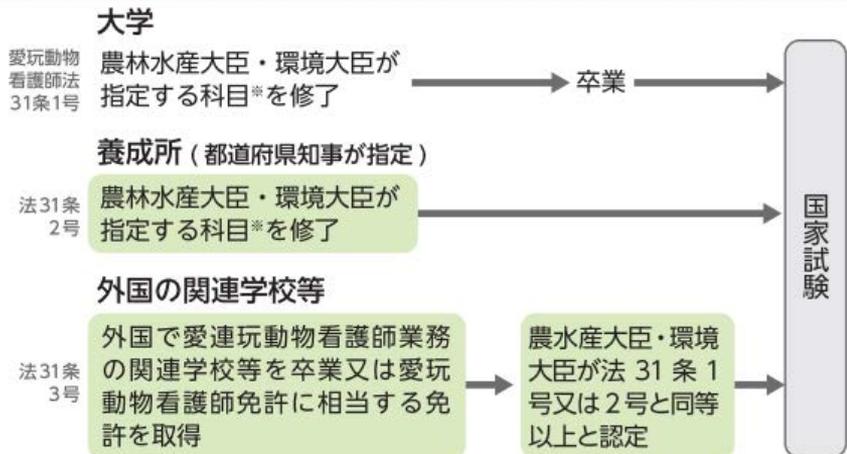
※試験及び登録に関する事務は（一財）動物看護師統一認定機構が実施。

愛玩動物看護師国家試験受験資格の要件

愛玩動物看護師国家試験の受験資格は、愛玩動物看護師法の施行（令和4年5月）以降に愛玩動物看護師を養成する大学や指定を受けた養成所で学ぶことによって得ることができます。また、経過措置として、条件を満たす現任者は講習会を受講し、令和9年4月末までに予備試験に合格することによって受験資格を得ることができます。

通常ルート

愛玩動物看護師を養成する大学や指定を受けた養成所等で学ぶ場合、卒業、必要な知識・技能の修得により受験資格を得られる

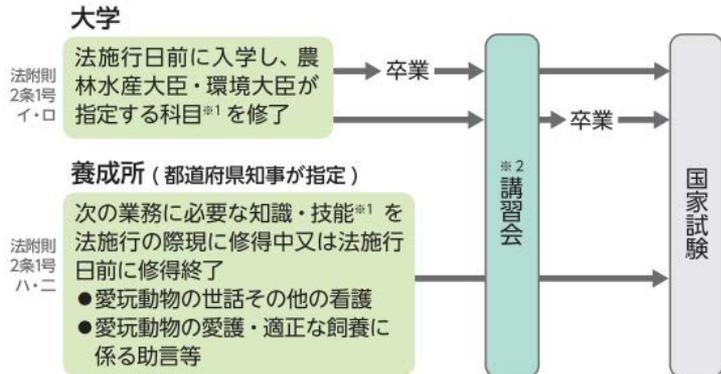
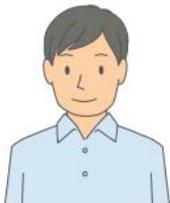


※基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・道正飼養学及び実習の5科目群に区分される31科目

愛玩動物看護師国家試験受験資格の要件

既卒者・在学者ルート

動物看護師を養成する大学・養成所の既卒者・在学者のうち、一定のカリキュラム^{※1}を学んだ者は、講習会を受講することで受験資格を得られる

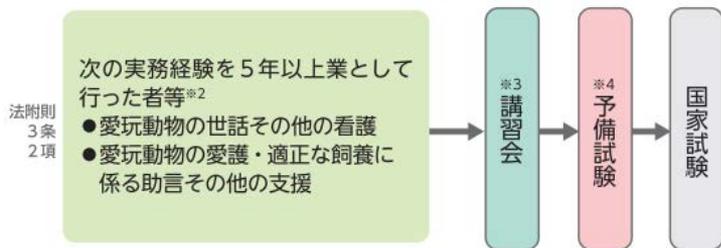
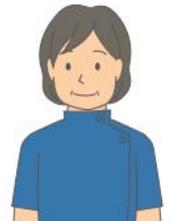


※1 認定動物看護師教育コアカリキュラム2019と同等以上の内容

※2 講習会の課程は農林水産大臣・環境大臣が指定。講習会を修了した者は、令和9年5月以降も国家試験を受験することが可能

現任者ルート

愛玩動物看護師の業務（診療の補助を除く）^{※1}を5年行った者は、講習会を受講し、予備試験に合格することで受験資格を得られる



※1 動物病院において愛玩動物の看護等を行う動物看護師、第一種動物取扱業の動物取扱責任者、動物看護に係る知識・技能を有し、一般職員とは区別されて業務に従事する者

※2 農林水産大臣及び環境大臣が実務経験者と同等以上の経験を有すると認める者（動物看護師を養成する大学・養成所の教員、既卒者・在学者、関係法令に携わる公務員等）を含む

※3 講習会の課程は農林水産大臣・環境大臣が指定

※4 予備試験に合格した者は、令和9年5月以降も国家試験を受験することが可能

愛玩動物看護師の業務

獣医療

1 愛玩動物の診療の補助

愛玩動物看護師の
独占業務

- 獣医師の指示の下に行う採血、投薬（経口など）、マイクロチップ挿入、カテーテルによる採尿など

※愛玩動物看護師は、獣医師の指示の下、愛玩動物に対する診療の一環として行われる衛生上の危害を生ずるおそれが少ないと認められる行為を行うことができる。この「診療の補助」を行うことができるのは、獣医師以外では愛玩動物看護師の有資格者のみ（業務独占）。



2 愛玩動物の世話 その他の看護

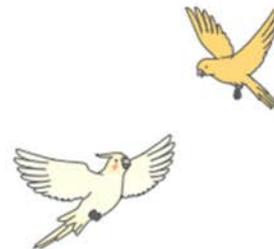
- 入院動物の世話、診断を伴わない検査など



獣医師の業務

診療

- 手術、X線検査、診察等に基づく診断など

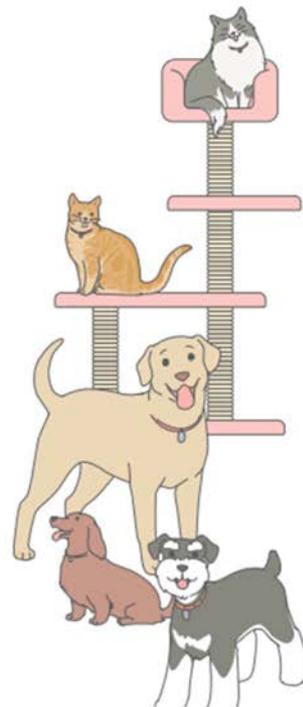


③ 愛玩動物の愛護・適正な飼養に係る助言その他の支援

- 動物の日常の手入れに関する指導・助言
グルーミング、爪切り、歯磨き等
- 人と動物の共生に必要な基本的なしつけ
適切な社会化を促すための教室の開催
- 動物介在教育（AAE）への支援
小学校等を訪問し学習活動をサポート
- 動物介在活動（AAA）への支援
高齢者施設等でのセラピー活動
- 動物飼養困難者（高齢者等）への飼育支援
家庭訪問、電話等で飼育に関する助言
- 災害発生時の被災動物適正飼養の為の支援
地方自治体との連携協力
- 動物のライフステージに合わせた栄養管理
ペットショップ等での食事相談



ほか



適切な技能および知識を有するものとして、**飼い主と獣医師、飼い主とペット、住民と動物等をつなぐ、重要な存在**として活躍が期待されています

動物愛護管理部局等

- 収容動物の世話・管理
- 適正飼養の啓発、指導
- 動物飼養相談・苦情対応
- 不適正飼養への対応（多頭飼育問題、虐待事案等）
- 野良猫・地域猫対策
- 譲渡に関する業務：譲渡用の犬・猫の健康管理補助、不妊去勢手術補助、譲渡前講習会等
- 診療の補助
- ペット防災関係
- 命の授業、動物介在活動
- 動物愛護管理担当職員としての動物取扱業者等各種立ち入り等

保健所等

- 監視員職として（大学のカリキュラムによっては取得可能）
- 検査業務

社会福祉部局等

- 多頭飼育問題、高齢者飼育対応等

防災部局等

- ペット防災関係

公営動物園等

- 動物園動物にまつわる業務



愛玩動物看護師のカリキュラム

○愛玩動物看護師カリキュラム等検討会は令和2年8月に設置され、令和3年3月22日まで検討会及びワーキングチームが計9回開催。大学及び養成所において履修すべき科目及びその到達目標等を検討。

大学及び養成所において履修すべき科目

1. 基礎動物学 (360 時間)	5. 動物臨床検査学 (30 時間)
①生命倫理・動物福祉 (30 時間)	⑥動物医療コミュニケーション (30 時間)
②動物形態機能学 (120 時間)	
③動物繁殖学 (30 時間)	
④動物行動学 (30 時間)	4. 愛護・適正飼養学 (210 時間)
⑤動物栄養学 (60 時間)	①愛玩動物学 (60 時間)
⑥比較動物学 (60 時間)	②人と動物の関係学 (30 時間)
⑦動物看護関連法規 (15 時間)	③適正飼養指導論 (60 時間)
⑧動物愛護・適正飼養関連法規 (15 時間)	④動物生活環境学 (30 時間)
	⑤ペット関連産業概論 (30 時間)
2. 基礎動物看護学 (270 時間)	5. 実習 (600 時間)
①動物看護学概論 (30 時間)	①動物形態機能学実習 (30 時間)
②動物病理学 (30 時間)	②動物内科看護学実習 (120 時間)
③動物薬理学 (60 時間)	③動物臨床検査学実習 (60 時間)
④動物感染症学 (90 時間)	④動物外科看護学実習 (90 時間)
⑤公衆衛生学 (60 時間)	⑤動物臨床看護学実習 (60 時間)
	⑥動物愛護・適正飼養実習 (60 時間)
3. 臨床動物看護学 (360 時間)	⑦動物看護総合実習 (180 時間)
①動物内科看護学 (90 時間)	
②動物外科看護学 (60 時間)	
③動物臨床看護学総論 (30 時間)	
④動物臨床看護学各論 (120 時間)	
	以上 計 1,800 時間
	※ 示した時間数は、養成所において実施する際の授業時間数である。

愛玩動物看護師のカリキュラム

	科目名	概要
基礎動物学 (360時間)	生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。
	動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。
	動物繁殖学	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。
	動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。
	動物栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。
	比較動物学	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。
	動物看護関連法規	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。
基礎動物看護学 (270時間)	動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。
	動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。
	動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。
	感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。
	公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。

愛玩動物看護師のカリキュラム

	科目名	概要
臨床動物看護学 (360時間)	動物内科看護学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。
	動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。
	動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。
	動物臨床看護学各論	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。
	動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。
	動物医療コミュニケーション	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。
愛護・適正飼養学 (210時間)	愛玩動物学	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。
	人と動物の関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。
	適正飼養指導論	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。
	動物生活環境学	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。
	ペット関連産業概論	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

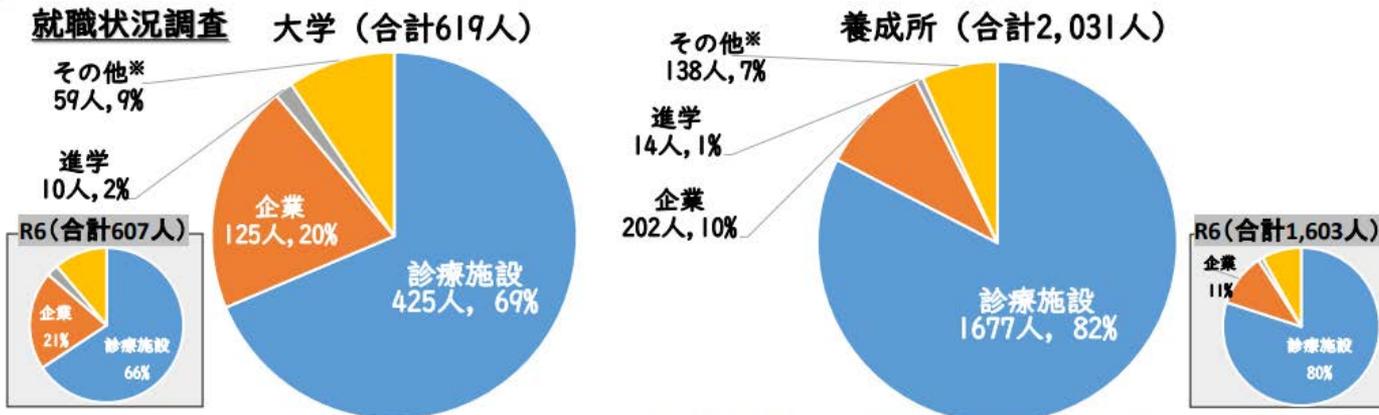
1. 愛玩動物看護師の制度について
2. 愛玩動物看護師の今後の職域等検討状況について



愛玩動物看護師就業状況等調査（令和7年度） 結果概要

- 令和7年の愛玩動物看護師養成校の卒業生の就職先は、前年と大きな変化はなく、大学では、約69%が診療施設、約20%が企業、約2%が進学。
養成所では、約82%が診療施設、約10%が企業、約1%が進学。
- 愛玩動物看護師を養成する学校の在籍者数は、令和7年4月1日時点で、大学14校合計で3,997人、養成所68校合計で8,853人。

就職状況調査



在籍状況調査

	合計	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
大学	3,997人(+288)	1,117人(-11)	1,092人(+75)	988人(+99)	800人(+125)
養成所	8,853人(+909)	3,274人(+224)	2,846人(+54)	2,697(+609)	36人(+22)

※（）内は前年比

愛玩動物看護師養成校（法第31条）について

■ 大学：全15校（11都道府県）

農林水産大臣及び環境大臣が指定する科目を開講する大学（法第31条）（令和7年9月30日現在）

■ 養成所：全70校（28都道府県）

都道府県知事が指定する養成所（法第31条）
（令和7年10月10日現在）

農林水産大臣及び環境大臣が指定する科目を開講する大学（法第31条）

令和7年9月30日現在

都道府県	学校名	課程名	修業年限	郵便番号	位置	指定科目の開講年度	備考
北海道	師範学園大学	獣医学部獣医保健看護学類	4	069-8501	北海道江別市文京台緑町582番地	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
青森県	北星大学	獣医学部動物資源科学科	4	034-8268	青森県十和田市東二十三番町35-1	令和8年度	指定科目を履修した者に限る
千葉県	千葉科学大学	危機管理学部動物危機管理学科	4	288-0025	千葉県銚子市潮見町3	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
千葉県	帝京平成大学	健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科動物医療コース	4	290-0193	千葉県市原市ういど南4-1	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
東京都	帝京科学大学	生命環境学部アニマルサイエンス学科動物看護福祉コース	4	120-0045	東京都足立区千住桜木2-2-1	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
東京都	日本獣医生命科学大学	獣医学部獣医保健看護学科	4	180-8902	東京都武蔵野市境南町1-7-1	令和4年度	
東京都	ヤマザキ動物看護大学	動物看護学部動物看護学科	4	192-0364	東京都八王子市南大沢4-7-2	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
東京都	ヤマザキ動物看護大学	動物看護学部動物人間関係学科	4	192-0364	東京都八王子市南大沢4-7-2	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
東京都	ヤマザキ動物看護専門職短期大学	動物トータルケア学科	3	150-0046	東京都渋谷区松濤2-3-10	令和4年度	
神奈川県	麻布大学	獣医学部獣医保健看護学科	4	252-5201	神奈川県相模原市中央区湖野辺1-17-71	令和6年度	指定科目を履修した者に限る
神奈川県	日本大学	生物資源科学部獣医保健看護学科	4	252-0880	神奈川県藤沢市亀井野1866	令和5年度	
山梨県	帝京科学大学	生命環境学部アニマルサイエンス学科動物看護科学コース	4	409-0193	山梨県上野原市ハツ沢2525	令和8年度	指定科目を履修した者に限る
岡山県	倉敷芸術科学大学	生命科学部動物生命科学科	4	712-8505	岡山県倉敷市連島町西之浦2640	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
山口県	東亜大学	医療学部医療工学科	4	751-8503	山口県下関市一の宮学園町2-1	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
愛媛県	岡山理科大学	獣医学部獣医保健看護学科	4	794-8555	愛媛県今治市いしの丘1-3	令和4年度	指定科目を履修した者に限る
宮崎県	九州医療科学大学	薬学部動物生命薬科学科	4	882-8508	宮崎県延岡市吉野町1714-1	令和4年度	指定科目を履修した者に限る 令和5年度までは九州保健福祉大学
鹿児島県	鹿児島大学	共同獣医学部畜産学科	4	890-8580	鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	令和6年度	指定科目を履修した者に限る

令和7年度愛玩動物看護師就職状況等調査の結果概要（速報）

※環境省が調査を行った養成所についてまとめたもの。



図1 出身都道府県者数（各年3月末時点）

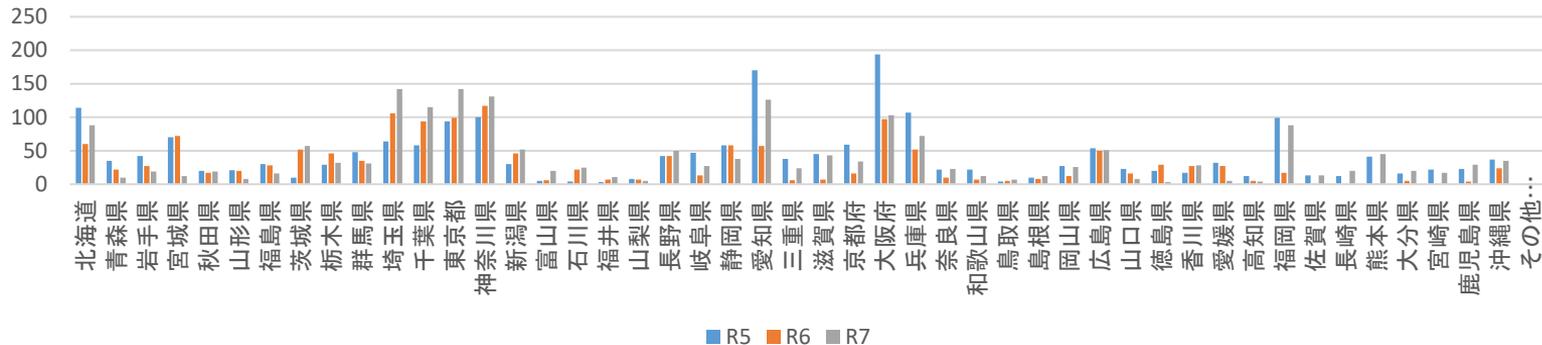
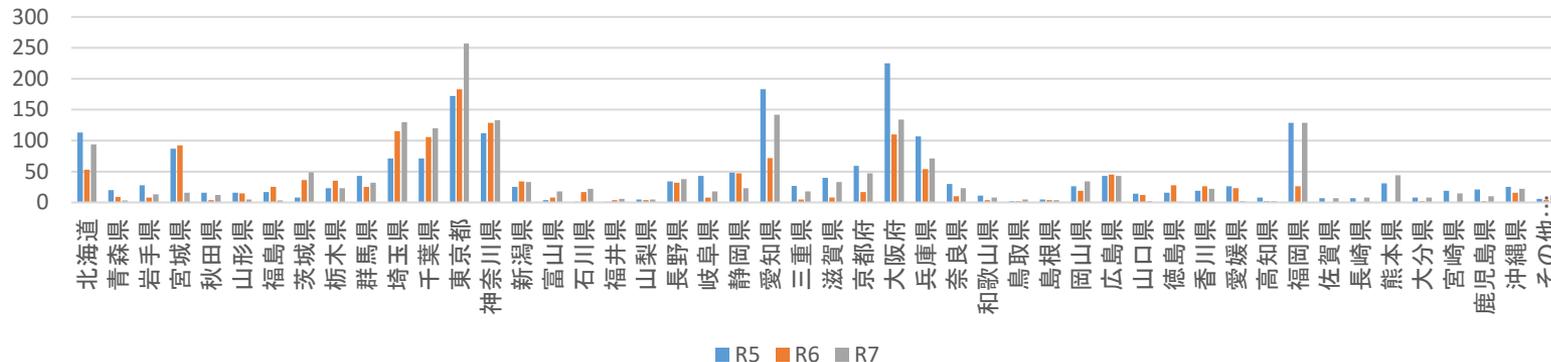


図2 就職先都道府県者数（各年3月末時点）



愛玩動物看護師現況調査（令和6年度） 結果概要

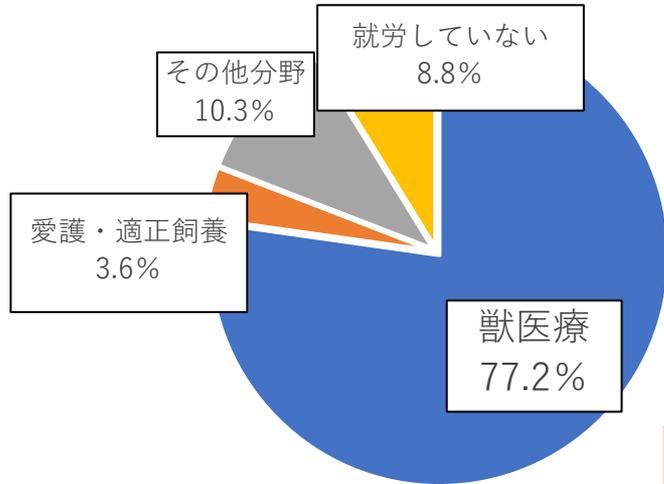
調査対象：令和6年12月末日時点の愛玩動物看護師登録者全員（約2万2千人）

調査項目：

- （1）基本属性：年代、性別、現住所都道府県、出身地都道府県、受験資格区分、合格年月日、実務経験年数、認定動物看護師資格の有無
- （2）勤務先機関：獣医療分野/愛護・適正飼養分野/教育等
- （3）愛玩動物看護師の業務への従事状況
- （4）愛玩動物看護師の業務に従事している愛玩動物看護師の状況：勤務時間数、給与形態/収入等
- （5）愛玩動物看護師の業務を実施している／していない愛玩動物看護師からの意見・要望（自由記載）：働き方、活動内容、キャリア形成等

回答結果：回答者数 5,209人

現在の勤務先機関



掲載ページ 環境省

勤務先機関	回答数	割合 (%)
愛玩動物診療施設	4,011	77.00
現在就労していない	460	8.83
愛玩動物看護師養成教育機関	125	2.40
大学・研究所等	55	1.06
トリミングサロン関連	47	0.90
ペットショップ関連	45	0.86
薬品関係	38	0.73
検査関連企業	28	0.55
ブリーダー関連	25	0.48
動物園・動物公園	24	0.46
国又は地方公共団体の動物愛護管理機関	21	0.40
ペット保険関連企業	20	0.38
ペットのシッター	15	0.29
動物愛護団体	14	0.27
「愛玩動物」以外の飼育動物診療施設	12	0.23
ペットフード関連企業	12	0.23
動物介護施設	10	0.19
食品関連企業	8	0.15
水族館	5	0.10
出版関連企業	5	0.10
ペットホテル	4	0.08
その他	225	4.32
計	5,209	100

愛玩動物看護師の認知向上にむけて

愛玩動物看護師

人とペットの
健やかな共生を、
確かな知識で支えます。

知っていますか？

愛玩動物看護師の仕事

1 愛玩動物の診療の補助

- ・獣医師の指示の下に行う採血、投薬(経口)、マイクロチップ挿入、カテーテルによる採尿など

2 愛玩動物の世話、その他の看護

- ・入脱動物の世話、診察を待たない様など

3 愛玩動物の愛護・適正な飼養に係る助言、その他の支援

- ・動物の日常の手入れに関する指導・助言、グルーミング、爪切り、歯磨き等
- ・人と動物の共生に必要な基本的なしつけ、適切な社会化を促すための教室の開催
- ・動物のライフステージに合わせた栄養管理、ペットショップ等での食事相談など

愛玩動物看護師は、飼い主をはじめとした人と動物の両方に寄り添う、身近な存在です。診療の補助や人間動物の世話・看護にとどまらず、日常のケアや基本的なしつけ、食事相談などの飼い方に関するサポートも大切な仕事。人と動物とのより良い共生社会を、確かな知識で支える役割を担っています。

『知っていますか？ 国家資格愛玩動物看護師』
令和6年度農林水産省・環境省作成ポスター

愛玩動物看護師の職域（動物愛護・適正飼養分野）

動物に関わるすべての事業者・施設の皆さまへ



動物のそばで、人のそばで。もっと広がる活躍の場。

国家資格
愛玩動物看護師

農林水産省 環境省
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries Ministry of the Environment



愛玩動物看護師の専門知識は、動物病院に限らず、現在さまざまな現場で活かされています。業界の垣根を越えて求められる理由とは？各分野の視点から、その価値を掘り下げます。



適正飼養のプロが 医療と社会をつなぐ新たな時代へ

博士(獣医学)
佐伯 潤氏
東京科学大学 アニマルサイエンス学科 教授
獣医師



動物医療の誕生と 国家資格の誕生

愛玩動物看護師が国家資格となった背景には、動物の社会的な位置づけの変化があります。犬や猫はもはや単なるペットではなく家族の一員となり、それに伴い動物医療の質向上が求められるようになり、専門的な知識を持つ人材の育成が急務となり、その役割を明確にするために国家資格化が進められたのです。

以前は動物看護師の資格は民間のものしかなく、知識や技術の標準化が課題でした。しかし、国家資格となったことで統一された教育課程と試験制度が整備され、一定の水準を満たした人材が輩出されるようになりました。その結果、動物医療の現場で看護師の信頼性が向上し、飼い主も安心して動物を預けられる環境が整いました。



獣医療チームの中で 果たす役割

愛玩動物看護師は獣医師とは異なる視点から動物病院に貢献します。獣医師が診断や治療を行うのに対し、看護師はケアや飼い主の支援を通じて治療の効果を高める役割を果たします。診療補助や入院動物の管理だけでなく、適正飼育や健康管理のアドバイスも重要な業務です。獣医療チームの一員として、動物と飼い主の双方を支える存在といえます。

さらに、国家資格化によって活動の場が広がり、ペット保険会社、動物関連企業、災害支援、高齢者施設でのアニマルセラピーなど、多様な分野での活躍が可能になりました。適正飼養の推進や公衆衛生の向上にも貢献する機会が増えていきます。

適正飼養分野で広がる 未来への展望

今後、愛玩動物看護師には病気の予防やリハビリテーション、行動管理などの知識を深め、より幅広い分野で活躍することが求められます。また、適正飼養の啓発や公衆衛生への取り組みを通じ、人と動物が共生できる社会づくりに貢献することも期待されています。

国家資格化により愛玩動物看護師の役割は明確になり、その専門性が広く認知されるようになりました。しかし、これは出発点に過ぎません。今後の発展には看護師自身の努力と、社会全体の理解と協力が不可欠です。動物医療の未来を支える存在として、さらなる成長と活躍が期待されます。



学びの場にも 寄り添い支える専門家

獣医師
村田 香織氏
株式会社インクローバー代表



病院の外で求められる サポートの役割

獣医師として臨床に携わる中で、「病院の外でできること」の重要性を強く感じてきました。しつけや社会化は、犬や猫が人と快適に暮らすために不可欠ですが、病院では十分な時間を取らず、飼い主が相談できる場も限られています。そこで、私は当施設を立ち上げ、病院では対応しきれない部分をサポートする場所を作りました。

愛玩動物看護師は、こうした「病院の外」

のサポートを担う存在です。日々のケアや適切な食事管理、シニア期のケアなど、診療とは異なる視点が必要な問題に寄り添い、適切なアドバイスを提供します。当施設では、看護師がトレーナーと協力してしつけ教室や栄養相談を担当し、飼い主と動物の生活を向上させています。

広がる看護師の役割と 未来への展望

また、終末期のケアやグリーフケアも看護師の大切な役割です。病院の診察室で

私たちの仕事 犬の学校

犬の学習環境やしつけ教室、飼い主向けの講座を開発。問題行動の予防や適正飼育の普及を目的とし、動物病院とも連携。愛玩動物看護師は、しつけや健康管理のアドバイス、食事指導などを担当し、飼い主と動物がより良い関係を築けるようサポートしています。

は時間が限られます。併設しているカフェでは、看護師がじっくり話を聞き、不安に寄り添うことができます。特に高齢のペットを飼う人にとって、こうした支えがあることで、安心して最期まで寄り添えます。

愛玩動物看護師の専門性は医療の枠を超え、幅広い場面で求められています。こうした専門性を活かせる施設が病院以外にも増えれば、ペット業界の発展につながると思っています。

私たちの仕事 動物病院

神奈川県にある動物病院で、戸塚本院と中田分院の2拠点で診療を提供。一般診療に加え、皮膚科・眼科・リハビリなど幅広い診療を担当。愛玩動物看護師が診療補助や入院動物のほか、飼い主向けの指導や病院運営にも関わって、獣医師と連携しながら動物と飼い主を支えています。

診療のサポートと 病院運営への貢献

動物病院における愛玩動物看護師の役割は多岐にわたります。診療補助だけでなく、飼い主との橋渡し役として治療方針やケア方法を伝え、不安を和らげることも重要な仕事です。例えば、長期入院する動物の様子を伝えることで、飼い主が安心して、病院への信頼にもつながります。

また、病院運営にも深く関わります。獣医師が診療に専念できるよう業務を調整し、円滑な診療体制を支えます。当病院では、スケジュール管理やスタッフ教育、飼い主

診療の裏側で 病院を動かす 緑の下の力持ち

愛玩動物看護師
三橋 有紗氏
ぬのかわ犬猫病院



には、看護師が寄り添い役割を果たします。こうした経験を重ねながら、私たちは成長を続けています。技術や知識を磨くだけでなく、動物と飼い主の両方にとって心強い存在となれるよう、日々の業務に向き合っています。

病院の外で求められる サポートの役割

看護師にとって最も大切なのは、飼い主に寄り添う姿勢です。ある飼い主さんが、認知症の愛犬の介護に悩み、涙ながらに相談されたことがありました。獣医師は治療を担当しますが、日々のケアや精神的な負担



私たちの仕事 水族館

動物看護師と動物看護管理室が連携し、動物の健康管理や診療を実施。愛玩動物看護師は、採血や検査、治療補助に加え、飼育スタッフと連携して健康管理を行い、獣医師の診療をサポートしています。

細やかな観察と対応で
獣医療を支える
心強いパートナー

博士(獣医学)
植田 啓一氏

沖縄県小浜島水族館 動物看護管理室 室長



動物医療の変化と 国家資格の誕生

当館には現在2名の愛玩動物看護師が在籍し、獣医師とともに動物の健康管理を行っています。診療補助や採血、検査、投薬管理のほか、飼育スタッフと連携しながら動物の健康を維持する重要な役割を果たしています。特に水族館では、動物の生態や習性を理解し、適切な治療やケアを行う必要があります。愛玩動物看護師の存在は不可欠です。

また、獣医師と飼育員をつなぐ橋渡し役

としても機能しています。飼育員が異常を感じた際、最初に相談するのは愛玩動物看護師であり、その判断が診療の方向性を左右することもあります。獣医師不在時には採血や検査を行い、迅速な対応を求められる場面も少なくありません。病気の早期発見、傷の処置、健康管理の調整など、多岐にわたる業務を担い、動物医療の現場を支えています。

適正飼養の視点からの貢献

さらに、愛玩動物看護師の専門性は適正飼養の分野にも広がっています。水族館では、健康管理だけでなく、動物がストレスなく過ごせる環境づくりが求められます。飼育環境の工夫や食事管理、行動観察を通じて、動物の福祉を考えた適正な飼育を実現することも、看護師の重要な役割です。例えば、イルカなどの水生動物の

健康維持のために、採血データの記録をもとに飼育のスケジュールを調整するなど、細やかなケアを行っています。

今後の展望と さらなる活躍の可能性

現在、多くの動物園や水族館では獣医師が診療を一手に担い、看護師の配置は進んでいません。しかし、獣医師だけでなくをカバーするのは難しく、今後は看護師

の配置が不可欠になるでしょう。実際、当館ではより多くの愛玩動物看護師を配置し、獣医療体制を強化する計画を進めています。

愛玩動物看護師の認知度を高め、水族館や動物園での活躍を目指す人が増えることも重要です。適正飼養の観点からも、その専門性は大いに活かせるはずです。国家資格化されたことで動物看護師の社会的地位が向上し、今後さらに多くの施設

で活躍の場が広がるでしょう。未来の動物医療と福祉を支える専門職として、より多くの人がこの分野に関心をもち、挑戦していくことを期待しています。



私たちの仕事 保険会社

ペット保険専門の損害保険会社として、犬猫に加え、小動物や鳥類もペット保険を提供しています。保険金の適正な審査と迅速な支払いを実現し、ペット医療に悩む飼い主さまの負担軽減に努めています。実践的な知識は、獣医療の専門知識を活かし、保護動物の相談やコールセンター対応、災害活動の支援を行い、より高いサービスの提供に貢献しています。

獣医と保険の
共通言語を持つ
プロフェッショナル

経営企画部長
末松 茂道氏

アイペット損害保険



保険業務を支える 専門知識の重要性

私たちの仕事は「ペットと人とが共に健やかに暮らせる社会をつくる」ことであり、獣医療に携わる専門家が活躍しています。保険金支払いでは、獣医師の診療内容や病歴を理解し、請求内容を適切に確認するうえで、愛玩動物看護師は心強い存在です。専門知識や獣医療現場で培った経験は、ペット保険の保険金支払いのプロセスで役立ちます。

営業の場でも、動物病院やペット

ショップ訪問時、獣医療関連の知識や経験があることで、より納得力のある提案が可能になります。獣医師とも門下生に会話ができるため、動物病院から信頼を得やすい存在です。

顧客との信頼を築く役割

また、コールセンターでは、飼い主さまの問い合わせに専門的視点で対応し、保険の仕組みやペットの健康管理についての助言ができます。事務的対応にとどまらず、実際の飼育環境に即した

アドバイスができ、飼い主さまとの信頼関係が深まります。

ペット保険の業務は、単に契約や支払いだけでなく、ペットとその家族の暮らしを支える仕事です。愛玩動物看護師の国家資格や経験が役立つ機会はたくさんありますので、より良いサービスの提供に活かし、ペット業界の発展に貢献したいと思います。

看護の視点で
業界の言葉を届ける翻訳者

愛玩動物看護師
渡邊 恭平氏

エデュケーション・プラス



私たちの仕事 出版社

動物医療やペット業界向けの書籍・雑誌を出版する企業です。企画・編集・編集・販売などのさまざまな分野で、愛玩動物看護師の知識と経験を活かされています。業界の動向を把握し、専門的な内容をわかりやすく整理・発信する役割があり、獣医療やペット業界の発展に貢献しています。

動物医療の知識を活かした 出版の仕事

私は愛玩動物看護師の資格を持ち、出版事業部でペット業界の企画と出版社、読者をつなぐ仕事をしています。当社は獣医療やペット業界に関する雑誌・書籍を扱い、私は企業と協力し、動物医療の知識を活かした出版物や販促資料を企画し、業界全体に発信する役割を担っています。

この資格は、私の業務において大きな強みです。動物病院で愛玩動物看護師

が獣医師と飼い主の橋渡しをするように、私は獣医師の情報を企業の製品開発や広報活動に活かし、最適な形で届ける役割を担っています。動物医療の基礎知識があることで、企画の質が向上し、より実践的な提案やコンテンツ作りにつながっています。

広がるキャリアの可能性

愛玩動物看護師の活躍の場は、動物病院だけでなく多岐にわたります。ペット業界全体を見渡すと、医薬品メーカーやペット

フード会社、メディアや教育機関など、専門知識を活かせる場面は意外に多くあります。今後、業界が進化する中で、その役割も多様化し、さらに広がっていくでしょう。

「資格を取ったら動物病院で働く!」—そんな固定観念にとらわれず、自分の強みを活かせる場を見つけることが大切です。私は出版関係の仕事を通じて業界の発展に貢献する道を選びました。愛玩動物看護師の資格は、多様なキャリアを切り拓く可能性を持っているのです。

【参考】愛玩動物看護師法成立・公布以降の主な動き

- ・令和元年（2019年）6月、愛玩動物看護師法が成立・公布
- ・公布以降、政省令の制定、ガイドライン等の制定を経て、令和4年（2022年）5月1日、完全施行
- ・令和2年（2020年）8月から令和3年（2021年）3月まで、カリキュラム等検討会を開催

年月	イベント、概要
令和元年6月	愛玩動物看護師法公布
令和2年2月	（一財）動物看護師統一認定機構を指定試験機関に指定
令和3年3月	カリキュラム等検討会報告書公表
令和3年9月	愛玩動物看護師法施行令公布
令和3年10月	愛玩動物看護師法施行規則、愛玩動物看護師養成所指定規則等公布
令和3年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・指定講習会実施要領 ・指定する科目の確認について
令和4年3月16日	愛玩動物看護師法に係る実務経験の取扱いについて
令和4年5月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師法の施行について ・愛玩動物看護師法の運用について ・（一財）動物看護師統一認定機構を指定登録機関に指定
令和4年5月24日	第1回愛玩動物看護師国家試験及び予備試験の実施について

愛玩動物看護師資格制度がその法の目的の達成に資するよう、
その免許の付与及び行政処分を適切に実施して**愛玩動物看護師に対する信頼性を確保し、**
獣医療分野及び動物愛護・適正飼養分野両方の側面より、
愛玩動物看護師制度を広く普及していく。

獣医事審議会免許部会・中央環境審議会動物愛護部会
愛玩動物看護師小委員会（合同会合）
構成員名簿（敬称略、五十音順）

浅野 明子	高木國雄法律事務所弁護士
磯部 哲	慶応義塾大学大学院法務研究科教授
市川 陽一朗	公益社団法人千葉県獣医師会会長
小田 民美	一般社団法人日本動物看護学会理事
佐伯 潤	公益社団法人日本獣医師会動物福祉・愛護担当職域理事
長田 三紀	元全国地域婦人団体連絡協議会事務局長
中山 裕之	東京大学名誉教授
西村 亮平	東京大学名誉教授
山川 伊津子	ヤマザキ動物看護専門職短期大学学長
横田 淳子	一般社団法人日本愛玩動物看護師会会長



【参考】愛玩動物看護師制度のあり方 検討状況

(獣医事審議会免許部会・中央環境審議会動物愛護部会愛玩動物看護師小委員会(合同会合))で検討

【国家資格の信頼確保】

- 国家試験の実施
- 免許付与、管理

《令和4-6年度》

- ◆ 国家試験の実施
 - ・第1-3回国家試験の実施
- ◆ 免許の付与、管理
 - 【行政処分の基本的考え方】
 - ・行政処分の内容の検討

《令和7年度》

- ◆ 第4回国家試験の実施
 - ・予備試験(10/5)
 - ・国家試験(2/15)
- ◆ 免許の付与、管理
 - ・行政処分の内容の検討

* 国家試験、行政処分に係る審議は年に2回程度を想定

【獣医療での職責・役割】

- 制度のあり方
- 実態把握、検証

《令和4-6年度》

- ◆ 制度のあり方に関する検討
 - 【中間とりまとめ】
 - ・愛玩動物看護師の業務
 - ・チーム獣医療での役割
- ◆ 職業実態調査
 - ・就職状況等調査(毎年)
 - ・現況調査(隔年)

《令和7年度》

- ◆ 制度のあり方に関する検討
 - ・飼養者との信頼関係構築
 - ・愛玩動物看護師の生涯教育
- ◆ 職業実態調査
 - ・就職状況等調査

* 定期的の実態調査を実施
* 社会ニーズの把握、課題の解決

【動物愛護・適正飼養分野における活躍推進】

- 制度のあり方
- 実態把握、検証

《令和4-6年度》

- ◆ 資格取得による職域拡大等調査
- ◆ 動物愛護管理行政での登用可能性調査
- ◆ 愛護適正飼養分野での活躍のための普及啓発物作成
- ◆ 職業実態調査
 - ・就職状況等調査(毎年)
 - ・現況調査(隔年)

《令和7年度》

- ◆ 活躍促進にむけての検討(継続)
- ・動物愛護管理行政への登用
- ・民間企業における職域拡大
- ◆ 職業実態調査
 - ・就職状況等調査

* 定期的の実態調査を実施
* 社会ニーズの把握、課題の解決

【養成・資質向上】

- 教育、専門養成
- 生涯教育、研修

《令和4-6年度》

- ◆ 生涯教育に関する実態調査
 - ・大学、養成所、関係団体へのヒアリング調査等

《令和7年度》

- ◆ 生涯教育に関する実態調査
 - ・大学、養成所、関係団体へのヒアリング調査等
- ◆ 実態調査の結果を踏まえた整理・検討等

* 生涯教育の実態調査を実施
* 教育内容の検証・評価

法施行後5年(令和9年度)を目途に『愛玩動物看護師制度のあり方』についての検討結果を取りまとめ

【参考】愛玩動物看護師の職域（獣医療分野）

飼養者に寄り添ったチーム獣医療提供体制（イメージ）

【愛玩動物看護師の技能と動物看護の専門職としての知識を活用した獣医療サービス】



【参考】愛玩動物看護師の職域（動物愛護・適正飼養分野）

【動物愛護・適正飼養分野における活躍推進のあり方について】

（1）動物愛護管理行政への登用

《令和7年度取組内容》

①認知度の向上に向けた取組

自治体における愛玩動物看護師の制度や専門性等の理解が必ずしも十分でないことを踏まえ、以下に取り組む。

⇒普及啓発物（パンフレット・ポスター）の送付：

都道府県・政令市・中核市の動物愛護管理部局（129自治体）、関係団体等

【対応状況】

- ・都道府県等へ送付済（随時）。
- ・動物愛護週間、ぼうさい国体等各種イベントでの配布。

⇒説明会の場を設ける：

「愛玩動物看護師の活躍について（仮）」

対象：都道府県・政令市・中核市の動物愛護管理部局（129自治体）、（動物愛護管理担当部局や必要に応じて人事部局）、学校関係者等

内容：制度説明、カリキュラム説明、雇用例、意見交換

【対応状況】

- ・令和8年2月開催予定（web）。

②自治体での登用の方策の検討・実施

②-1：自治体登用のモデルケース作成に向けた取組みの推進

- ・今後の採用意向等をもつ自治体との意見交換と伴走支援

【対応状況】

自治体との意見交換の実施（継続中）や、雇用についての問い合わせ対応を実施（継続中）。

<意見交換での自治体からの主な意見>

- ・動愛センター、動物園、畜産部局などで活躍の可能性があるのではないか（すでに畜産部局では愛玩動物看護師の有資格者がいる）。
- ・会計年度任用職員採用では異動もないため、専門性を活かしている事例がある。
- ・獣医師不足を補うためにも愛玩動物看護師の採用枠の要望を上げていきたい。まずは会計年度任用枠から進める。
- ・動愛センター等での委託先に愛玩動物看護師がいる場合がある（専門知識を持つ者を募集人員要件）
- ・任用資格に基づく採用枠がないことや愛玩動物看護師の認知不足によって採用の検討が進みにくい。
- ・動物愛護管理法条文内の動物愛護管理担当職員に資格を指定し、地方交付金による手当があれば、採用設定時の理由付けになり得るのではないか。

（2）民間企業における職域拡大

《令和7年度取組内容》

①認知度の向上に向けた取組

活躍機会が限られていることを踏まえ、以下に取り組む。

⇒普及啓発物（パンフレット・ポスター）の送付：

すでに活躍事例のある動物病院、動物園・水族館等のほか、今後活躍機会の拡大が期待される業界等：

【対応状況】

- ・動物病院等へ送付済（随時）。
- ・動物愛護週間、ぼうさい国体等各種イベントでの配布。

⇒説明会の場を設ける：

「愛玩動物看護師の活躍について（仮）」

対象：すでに活躍事例のある動物病院、動物園・水族館等のほか、今後活躍機会の拡大が期待される業界等

内容：制度説明、カリキュラム説明、雇用例、雇用主や愛玩動物看護師によるクロストーク、意見交換

【対応状況】

令和7年12月開催予定（web）。

<内容（予定）>

- ・制度・カリキュラム説明
- ・雇用例紹介（企業等）
- ・クロストーク及び意見交換

【参考】愛玩動物看護師の職域（動物愛護・適正飼養分野）

（１）動物愛護管理行政への登用

②自治体での登用の方策の検討・実施

②-2：インターン制度の活用を検討

- ・自治体へのインターンを希望する学生・学校と自治体との橋渡しに向けた検討

【対応状況】

自治体および愛玩動物看護師養成大学へのヒアリング（継続中）。

<自治体からの主な意見>

- ・動物看護学生のインターン受け入れは学校側の単位の一環としての受け入れはあるが、採用へ直結するものではないと考えている（採用枠がないため）。一方で、獣医のインターンはほぼ就職に直結しているという認識。

<大学側からの主な意見>

- ・大学によっては、食品衛生監視員や環境衛生監視員等を取得可能（下表）。
- ・学生がインターン先を個別に見つけてきている現状。
- ・大学、自治体、各団体・協会等のネットワークづくりができると良い。
- ・例えば学生が自治体にインターンを希望した際の、スムーズな連携体制の構築等。
- ・学生は就職先として地方公務員を知らないだけで、採用情報があれば興味をもつ学生も多いだろう。

農林水産大臣及び環境大臣が指定する科目を開講する大学（法第31条）の資格一覧

取得可能資格				任用資格											
（受講して合格した者）	愛玩動物飼養管理士	災害支援動物危機管理士	中学校・高等学校教諭（理科）	生物分類技能検定	学芸員	食品衛生監視員	食品衛生管理者	環境衛生監視員	飼料製造管理士	食鳥処理衛生管理士	社会福祉主事	バイオ技術者（中級・上級）	ペット栄養管理士	実務動物一級技術者試験	愛玩動物看護師国家試験

※各大学資料より

②-3：社会課題への改善に向けた取組みでの活躍を提案

- ・愛玩動物看護師の参画により改善が期待される社会課題に対し、民間での活躍事例（（２）②-2で得られた情報等）を整理し、展開：

（２）民間企業における職域拡大

②活躍機会の拡大に向けた検討・実施

②-1：新たな職域での雇用機会の創出

- ・愛玩動物看護師を雇用することで差別化できる要素の整理
【ペットツーリズム関係】・【ペット共生住宅関係】など

【対応状況】

要素の整理等の実施（参考概要はP3,4）。

②-2：社会課題の改善に向けた活動における愛玩動物看護師の付加価値の整理

- ・愛玩動物看護師の参画により改善が期待される社会課題における活躍事例を集約
【適正飼養指導（健康管理（適した栄養等）、しつけ、パピークラス、老犬教室など）】・【災害支援】・【動物介在教育・療法】・【学校飼育動物関係】・【社会福祉関係】ほか

【対応状況】

付加価値の整理等の実施（参考概要はP5,6）。



環境省